

平成30年度11月補正予算の概要

平成30年11月20日

1 予算規模（一般会計）

補正額 1,950百万円（平成29年度11月補正 1,529百万円）
 補正後 368,469百万円（前年度同期 366,070百万円）
 補正前 366,519百万円

財源 国庫支出金 1,162百万円、県債 ▲304百万円、
 諸収入 142百万円、地方交付税 875百万円、
 地方特例交付金 46百万円、繰越金 29百万円 など

2 主な事業

○ 台風24号災害からの復旧

・ しっかり守る農林基盤交付金 …………… 77,000千円
 市町村が行う国庫補助の対象とならない小規模な農地・農業用施設の災害復旧に要する経費を支援する。（農地・水保全課）

・ 分収造林促進費 …………… 7,200千円
 台風24号で被害を受けた県有林内の森林作業道等の復旧を行う。（県営林事業特別会計に対する繰出金）（林政企画課）

・ 耕地災害復旧事業 …………… 959,045千円（公共事業において再掲）
 台風24号により被災した県営及び団体営の農地及び農業用施設の復旧を行う。（農地・水保全課）

・ 林道施設災害復旧事業 …………… 159,651千円（公共事業において再掲）
 台風24号により被災した市町が管理する林道施設の復旧を行う。（県産材・林産振興課）

・ 単県斜面崩壊復旧事業 …………… 40,000千円（公共事業において再掲）
 台風24号により被災した国庫補助事業及び単県急傾斜地崩壊対策事業の補助対象とならない荒廃林地及び急傾斜地に係る市町村が行う復旧事業に対して助成する。（治山砂防課）

○ 国1次補正予算対応

・ 特別支援学校エアコン整備事業費 …………… 109,117千円
 国補正予算により新設される交付金を活用し、老朽化が進行している鳥取盲学校、鳥取聾学校、鳥取養護学校及び倉吉養護学校のエアコンの改修を前倒して実施する。（教育環境課）

- ・私立学校施設整備費補助金 …………… 2, 512千円
大阪北部地震による学校のブロック塀の倒壊事故を受け、国の補正予算により私立高等学校及び専修学校のブロック塀の安全対策費用の一部助成が行われることにあわせて、県による上乗せ助成を行う。 (教育・学術振興課)
- TPP11発効対策
 - ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業 …………… 234, 124千円
県内園芸産地の活力増進を図るため、国の産地パワーアップ事業を積極的に活用し、県等で開発した従来と同等の強度を有し建設費が安い「鳥取型低コストハウス」の導入を支援する。 (生産振興課)
 - ・農業近代化資金等利子補給事業 …………… (H31～50債務負担行為 34, 450千円)
農業者が新たに規模拡大及び近代化を図るため借り入れる農業近代化資金の融資枠を拡大するとともに、金利負担を軽減するため利子助成を行う。 (経営支援課)
- 国際航空便の利用促進
 - ・国際航空便利用促進事業 …………… 8, 614千円
米子香港便が増便されることに伴い運航する航空会社に対して運航に必要な経費の一部を支援するとともに、増便の定着及び路線利用の促進を図るため、アウトバウンドに係るプロモーションを強化する。 (観光戦略課)
 - ・東アジア市場誘客事業 …………… 12, 000千円
国際定期航空便の利用客のさらなる増加に向け、韓国・香港向けのインバウンドプロモーションを強化するとともに、台湾とのチャーター便の継続的就航に繋げるため台湾でのPRを行う。 (観光戦略課)
- 鳥取西道路開通対策
 - ・鳥取西道路開通観光情報発信事業 …………… 10, 000千円
(H31債務負担行為 9, 521千円)
平成31年夏までに全線開通予定の「山陰道・鳥取西道路」について、鳥取市や関係団体と連携した地域資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、県内外への情報発信を行うことにより、鳥取西道路周辺地域への誘客を図る。 (東部振興課、観光戦略課)
- その他
 - ・平成30年度燃油高騰対策特別金融支援事業 …………… 制度創設
燃油高騰により中小企業者の経営が圧迫されていることから、地域経済変動対策資金(平成30年度燃油価格高騰対策枠)による融資を行うとともに、当該融資に係る利子負担を市町村と協調して軽減する。 (企業支援課)
 - ・風しん対策特別促進事業 …………… 3, 876千円
風しんが全国的に流行していることから、抗体価検査及びワクチン接種申込者の増加に対応するために必要な経費を増額するとともに、抗体価検査及びワクチン接種の助成対象者の拡充を行う。 (健康政策課)

・ A I ・ I O T を活用した新市場創出促進事業（生産性革命）……………
（H31 債務負担行為 10,716 千円）

生体認証システム（本人認証、決済等）を宿泊業等に整備し、インバウンド対応において指先1つでチェックインや決済ができる観光客にとって利便性が高く、県内事業者にとっても生産性向上に資する仕組みを構築する社会実験を行う。（企業支援課）

・ 中部療育園移転整備事業 …………… 139,619 千円
（H30～31 継続費 338,319 千円）

施設の狭隘化等の課題がある中部療育園について、（元）倉吉市立河北中学校管理教室棟を改修し、移転・整備を行う。（子ども発達支援課）

・ 境港管理組合負担金（マリーナ施設改修整備事業）…………… 7,055 千円

2019 レーザー級世界選手権大会開催に向け、境港管理組合が行う出艇用スロープの設置、浮棧橋の増設及び安全施設等（立入防止柵、管理棟スロープ等）の改修に要する経費の一部を負担する。（空港港湾課）

○ 公共事業 1,163,696 千円

- | | | |
|---|-------------------|--------------|
| （ | ・ 単県事業（都市公園、治山） | 45,000 千円 |
| ） | ・ 災害公共（農業農村整備、林道） | 1,118,696 千円 |
- （緑豊かな自然課、農地・水保全課、県産材・林産振興課、治山砂防課）